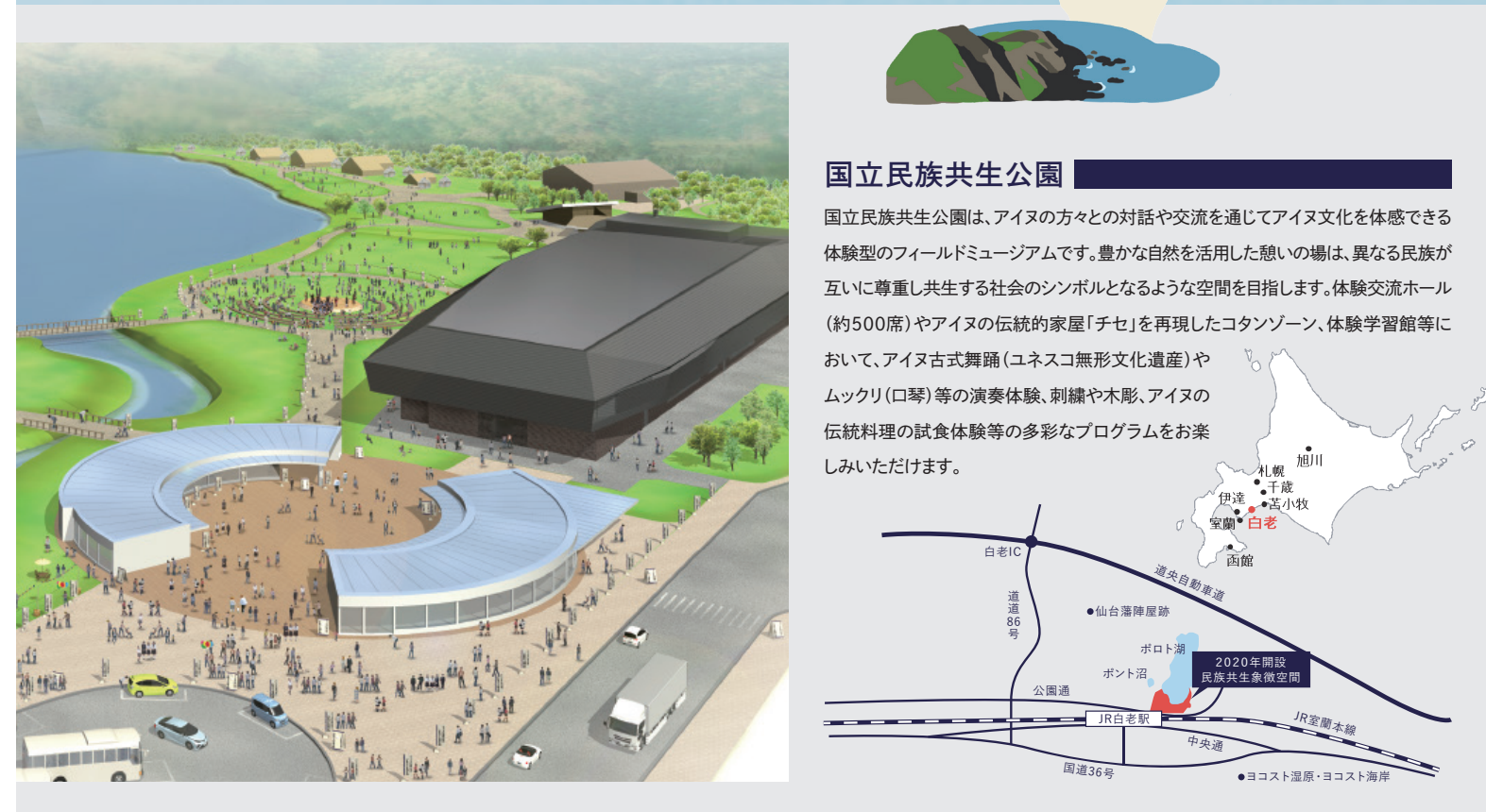




HIDAKA 心に残る絶景5選



日高の桜

日高エリアの桜の見ごろは、ゴールデンウィークにあたる4月下旬から5月上旬。二十間道路桜並木（新ひだか町）や雄略桜ロード（浦河町）は北海道有数の桜の名所。青空の下で咲き誇る桜を眺めることができれば、夜桜ならではの静けさを感じられるのもおすすめです。

日高のジュエリーアイス

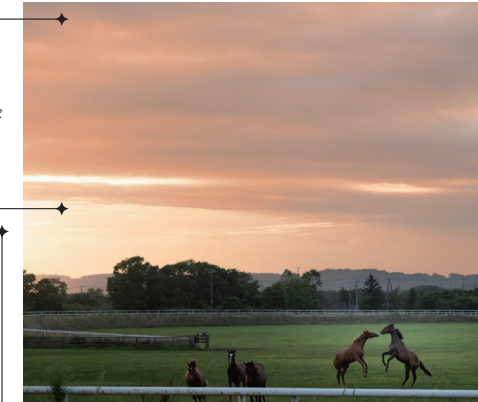
近年注目を集めているジュエリーアイスが日高エリアでも見られることは、実はまだあまり知られていません。太平洋に沈む夕日と透明な氷塊が作り出す幻想的な風景を鑑み、冬の日高を旅してみませんか。

日高のサラブレッド

日本一の軽種馬産地として知られる日高エリアでは、多くの軽種馬牧場があり、いたるところでサラブレッドを見ることができます。春の子馬でシーズンは、愛らしい仔馬の姿に癒されること間違いなしです。

日高の夏景色

北海道の中でも特に涼しい気候の日高では、酷暑なんてどこ吹く風。広大な軽種馬牧場が繰り出す新緑の緑が色鮮やかに映えたり、夏の日高の爽快感を一層際立たせます。



日高の夕日

太平洋沿岸に広がる日高エリアは、適度な起伏があり視界を遮るものが少ないため、夕日の名所が多いことも特長。海岸線の美しいロケーションをドライブし、水平線に沈む夕日を堪能してみてください。



(撮影・提供) Rucya Y Ito



HIDAKAおもてなし部会

日高地方7町の飲食店・宿泊施設・観光施設・生産者等が結束し平成26年に設立した民間農業種の連携組織。「HIDAKA PREMIUM」をコンセプトとしたパンフレットの作成やイベントへの出店などを通じて、知られざる日高の魅力を発信している。



北海道新幹線 × nittan地域戦略会議

北海道新幹線開業効果に沿ってはない胆振・日高（日置）地域へもたらすことを目的に平成25年に設立した官民連携の広域組織。道内・道外各地でのプロモーション事業や観光コンベンション開催などにより、交流人口の拡大に取り組んでいる。近年は、2020年4月の民族共生象徴空間開設に向けたPR事業に注力。



民族共生象徴空間からつながる

HIDAKA GOURMET ROAD ♪

2020.4.24

北海道白老町に民族共生象徴空間「ウポポイ」誕生。



2020.4.24 OPEN

民族共生象徴空間
国立アイヌ民族博物館・国立民族共生公園

About nittan

北海道南部の太平洋側にある胆振と日高の2つの地域をあわせて「胆（にったん）」と呼びます。このnittanエリアにある白老町のポロト湖畔に、アイヌ文化復興等のナショナルセンターとして、2020年4月、「民族共生象徴空間（愛称：ウポポイ）」が誕生します。民族共生象徴空間は、北海道の先住民族であるアイヌの歴史や文化等を紹介する国立の施設です。民族共生象徴空間にお越しの際には、nittanエリアのグルメや温泉も併せてお楽しみください。

民族共生象徴空間とは

アイヌ文化復興等に関するナショナルセンターとして自然豊かな白老町ポロト湖畔に誕生する「民族共生象徴空間」は、アイヌの歴史や文化に関する幅広い理解の促進を図り、未来へ向けてアイヌ文化の継承と新たなアイヌ文化の創造発展を推進。主要施設として「国立アイヌ民族博物館」「国立民族共生公園」が整備されます。

国立アイヌ民族博物館

国立アイヌ民族博物館では、先住民族であるアイヌの尊厳を尊重し、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するとともに、新たなアイヌ文化の創造及び発展に寄与します。



国内には、東京、京都、福岡などに全部で7館の国立博物館があります。国立アイヌ民族博物館は、その中でも最北端に位置し、北海道で初めての国立博物館です。国立アイヌ民族博物館は、伝統的なアイヌ文化を一面的に展示するのではなく、現代に息づく多様なアイヌ文化とそれに関わる人々をさまざまな視点から紹介し、未来のアイヌ文化の創造に寄与します。

